

令和6年度第3回小金井市長期計画審議会

日 時 令和6年8月23日（金）午後2時30分～午後3時30分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 11人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 萬 羽 郁 子 委員

委 員 高 松 央 介 委員 田 中 千鶴枝 委員

天 野 佳 奈 委員 木 場 征 夫 委員

小早川 良 信 委員 鈴 木 琢 真 委員

須 藤 吉 章 委員 浅 野 智 彦 委員

井 寺 喜 香 委員

欠席委員 4人

田 端 佑 也 委員 檜 山 渚 委員

福 平 恵 一 委員 出 戸 剛 委員

事務局 企画政策課長 富田 絵実

企画政策課係長 中島 広樹

企画政策課主任 兼堀 義信

傍聴者 0人

（午後2時30分開会）

◎富田企画政策課長 それでは、会議に先立ちまして、進行上のお願いです。皆様が御発言をなさる際に、会議録の作成の都合上、お名前を先におっしゃっていただいた上で御発言をお願いいたします。

それでは、定刻になりましたので、渡邊会長、お願いいたします。

◎渡邊会長 ただいまから、令和6年度第3回小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日は、田端委員、檜山委員、福平委員、出戸委員が欠席ということで、高松委員は遅れるとの連絡をいただいております。

定足数については、「小金井市長期計画審議会条例」第5条第2項に半数以上で成立することになっております。現在15名中10名の出席ですので、この会議は成立しているということで御報告申し上げます。

続きまして、配付されている資料の説明を事務局からお願いいたします。

◎富田企画政策課長 まずは、本日の次第が1枚ございます。それから、資料1「令和6年度施策評価について（答申）案」がA4ホチキス留めの資料となっております。

本日配付の資料は以上となりますが、前回までに配付させていただいた資料につきましても御参考いただければと思います。

不足などございましたら挙手をお願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、次第1「令和6年度施策評価について」を議題とします。事務局から説明をお願いいたします。

◎**富田企画政策課長** それでは、資料1「令和6年度施策評価について（答申）案」を御覧ください。こちらの資料は前回の会議の中で長期計画審議会コメントとして掲載したいキーワードや文章をピックアップしていただく作業をしていただきましたが、そちらを基に会長、グループリーダーから御意見をいただきながら答申の案としてまとめたものでございます。

資料の内容について説明させていただきます。29の施策それぞれを「長期計画審議会コメント」及び「意見」という2つの形で整理させていただきました。

「長期計画審議会コメント」につきましては、前回ピックアップしていただいた内容を中心に1～2項目に絞り掲載しております。こちらが施策評価シートに掲載されます。

「意見」につきましては、「長期計画審議会コメント」に掲載できなかったものを掲載させていただきました。主には施策や個別事業に対する御意見となっております。施策評価には掲載をいたしません、コメントとともに本審議会の答申として公表し、担当部署に共有いたします。

それでは、本日御協議いただく内容を説明させていただきます。

資料1の1ページ目を御覧ください。本日は施策1から施策29までの長期計画審議会コメント及び意見を御確認いただきたいと思っております。本日、皆様からいただいた御意見の中で修正が必要なものにつきましては、それを反映したものをまとめさせていただき、最終的な長期計画審議会としての答申をいただきたいと考えております。

なお、最終的な答申は会長と事務局で調整させていただき、会長一任でお願いしたいと思います。

施策の数も多く、時間の関係もございまして、本日調整が難しい御質問等につきましては、来年度評価への持ち越しとさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

説明は以上となります。渡邊会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** 事務局から説明がございましたけれども、何か御質問ございますか。

それでは、本日の主要議題は、黒枠の長期計画審議会コメントを固めるということで、先ほども御紹介があったように29の施策について、一つ一つ確認していくということになります。数が多いため円滑な進行に御協力をお願いいたします。

進行については、萬羽職務代理に長期計画コメントを朗読していただき、その後、皆さんから御意見をいただくことにしたいと思います。また、コメントの下の意見については読み上げませんが、御意見があればお願いします。

それでは、施策1から萬羽委員、朗読をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策1、みどりと水の環境整備についてのコメントです。公園環境美化サポーターの登録者数が増加しており、順調に推移していることは評価できる。市民協働による公園美化の更なる推進のため、環境美化サポーターに限らない多様な関わり方の受け口を創出していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 質問、あるいは御意見があれば挙手をお願いいたします。よろしいですか。何かあれば、また後ほど伺いたいと思います。

それでは、引き続いて施策2をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策2、循環型社会の形成についてのコメントです。市民だけでなく、事業者が出している、いわゆる「事業系ごみ」についても目を向け、循環型社会の実現に取り組んでいただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 この件について御意見等ございましたらお願いします。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策3をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策3、環境保全の推進についてのコメントです。省エネチャレンジ事業は大変面白い取組であり、その結果報告が指標1の値に大きく影響する重要な情報であることから、市民への周知に努め、有効な活用を期待したい。

以上です。

◎渡邊会長 この件、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策4をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策4、市街地の整備についてのコメントです。「小金井らしい」について、何を残して何をしないのかを明確にする必要がある。

全ての市民を満足させることは不可能と感じており、行政としてどの方向に進むのかを決め、メッセージを打ち出してほしい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策5をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策5、住環境の整備についてのコメントです。指標1の値は減少したものの、目標に対して順調に推移している状況は評価できる。引き続き、施策の推進に努めていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策6をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策6、都市インフラの整備についてのコメントです。指標1は主体が誰かによ

って数字が変わることから、属性（車や歩行者など）によって分けることで、それぞれに応じた施策を明確にすることができるのではないかと。

指標 3 の値の進捗率に変動がなかったが、令和 7 年度の目標達成に向けた取組に期待する。
以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策 7 をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策 7、交通環境の整備についてのコメントです。交通事故死傷者数について、年齢層や場所、時間帯などの分析結果に応じた啓発、対策について、関係機関と連携し取り組んでいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策 8 をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策 8、危機管理体制の構築についてのコメントです。災害時に想定される被害や体験談などのイメージを共有することで意識改革が進み、指標 1、2 の値の改善が期待できないかと。

各種のイベントと組織化の関連性を意識し、目標の達成に向けた段階的な取組が必要であると考える。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策 9 をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策 9、地域の安全・安心の向上についてのコメントです。警察や東京都との連携を強化するとともに、犯罪発生数や発生動向に関する情報を共有し、市としての具体的な取組につなげていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策 10 をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策 10、産業・観光の振興についてのコメントです。道草市のキッチンカーなど、ウィズコロナを意識して実施してきた取組は評価できる。

創業支援の取組が商店街へ与える影響について調査するなど、商店街の活性化につなげる施策が、より充実することに期待したい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策 11 をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策 11、都市農業の振興についてのコメントです。農業者数、農地面積が減少する中で指標 2 を目標値まで上昇させることは困難と思われるが、様々な取組を進めているこ

とは感じられる。様々な視点から新たな取組も進めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** ここまでが第1グループです。第1グループに属されている方で何か意見があれば、お願いします。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、次から第2グループになると思います。引き続き施策12をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策12、子どもの育ちの支援についてのコメントです。指標1の値は減少したものの取組内容と課題の捉え方は妥当と感じる。指標の値の低下にも留意しつつ、引き続き改善に向けた取組を推進していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続き施策13をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策13、子育て家庭の支援についてのコメントです。更なる子育て家庭の支援の充実に向け、ニーズを踏まえた具体的な課題を抽出し、施策の方向性を検討していくことで、指標の値の改善につなげていただきたい。また、こども家庭センターの設置に伴う新たな取組にも期待したい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続き施策14をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策14、子育て・子育て環境の充実についてのコメントです。各種取組が、どの程度目標に影響しているのか見えにくい。目標達成に向けた取組であることが分かるように報告してほしい。

課題と施策の方向性が合っている。今後も、子どもの意見を聴取しつつ、地域全体としての子育て環境の充実や、子育てする側が安心して子育てできる環境の促進に取り組んでいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続き施策15をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策15、学校教育の充実についてのコメントです。多様な取組を柔軟に素早く行っていることが見て取れ、とても評価できる。学校教育における課題は多岐にわたるが、冷静に分析され、具体的な取組に活かされている。引き続き、課題を正しく捉え、具体的なアクションを継続して実施していただきたい。また、現場で働いている教員の働き方の改善について積極的に取り組んでいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続き施策16をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策16、学校環境の整備についてのコメントです。指標1の値は一定の向上が見られ、取組の成果であると考えます。小中学校トイレの洋式化など、子どもたちのより良い学校環境の構築に努めていただきたい。

トイレ環境の向上が進んでいることは分かったが、そのほかの修繕や建て替えについての評価が少なく、進捗状況が見える化する必要性を感じる。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策17をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策17、芸術文化の振興についてのコメントです。指標1、2は共に実績値が順調に増加している点は評価できる。小金井市ならではの文化を起点に、様々な取組が実現できていることが成果につながっているものと考えます。引き続き、市民の声も反映させながら、目標達成に向け取組を継続していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策18をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策18、国際交流・都市間交流の推進についてのコメントです。休止していたイベントが再開され、指標1、2共に実績値が改善したことは評価できる。今後は参加者の世代別人数の分析をし、どの層に向け展開していくかなど、イベント内容の再検討を視野に入れてほしい。

来訪者が小金井市を紹介したくなるようなスポットを作り、SNS等を通じた情報発信による、個人ベースでの国際交流も積極的に考えてもいいと感じる。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策19をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策19、人権・平和・男女共同参画の尊重についてのコメントです。地道な啓発活動の継続こそが肝要だが、各指標の値が順調に推移していることは評価したい。しかし、それに満足することなく、これからも継続して取り組んでいただきたい。

多様な性の理解促進に向けた各種啓発活動は、「誰もが個人として尊重され平等に暮らす」という目指す姿を実現するために重要である。今後も多くの方に理解いただけるよう継続的に取り組んでいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策20をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策20、生涯学習の振興についてのコメントです。指標1の実績値が増加しており、目標値に達したことは大変評価できる。

次年度の施策の方向性として挙げられているが、地域と学校、社会教育団体、大学等との連携を深めていくことを期待したい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策21をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策21、スポーツの振興についてのコメントです。課題と施策の方向性が合っており、今後も取組を継続していただきたい。適切な管理体制を維持しながらスポーツ環境の拡充を進めていくことに期待する。

総合学院テクノスカレッジ、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（メガロス武蔵小金井）との連携協定により、少ない市内運動施設をカバーしている取組は評価できる。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策22をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策22、福祉のまちづくりの推進についてのコメントです。評価は適正であるとする。今後、福祉総合相談窓口事業の更なる充実に期待したい。

令和5年度の主な取組が窓口事業と計画策定にとどまっていることから、次年度は具体的な取組にも着手し、地域の包括的な支援体制に取り組んでほしい。また、次年度の施策の方向性として挙げられているDXの活用についても、研究にとどまらず、実現可能な取組については積極的に展開していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策23をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策23、高齢者の生きがいの充実にについてのコメントです。指標の実績値には直接反映されていないが、高齢者のデジタルデバイド解消のための事業等、有意義な取組がなされていた点は評価できる。ICT化が進む中、高齢者の社会参加に資する施策は重点的に取り組むべきと考える。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策24をお願いいたします。

◎萬羽委員 施策24、高齢者が暮らし続ける仕組みの充実にについてのコメントです。課題として挙げられているとおり、事業の目的、意義を市民に分かりやすく周知することが必要であるとする。指標の値の結果に基づき、事業計画に微修正を加えながら進めていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策25をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策25、障がい者福祉の充実についてのコメントです。指標1、2共に、課題の大幅な改善はないものの、着実に個々の取組の成果が上がってきていると感じる。

地域生活支援拠点等整備事業を始め、障がい者を対象とする福祉事業は着実に進捗している点は高く評価できるが、住み慣れた地域で共に支え合うためには障がいの有無に関わらず啓発活動が必要であり、引き続き、市民の理解促進のための方策を検討していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策26をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策26、健康の維持・増進についてのコメントです。指標1について、実績値は毎年下がっており、その下がり幅も大きくなっている。値が下がっている要因を分析し、課題をより具体化して進めていただきたい。

食費が高騰しており、食育への啓発活動の重要性は増している。取組が継続されることに意味があると思う。

以上です。

◎**渡邊会長** ここまでが第2グループです。第2グループの委員の方、いかがでしょうか。よろしいですか。施策27から施策29までは第1グループですね。それでは、引き続いて施策27をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策27、市民参加・協働の推進についてのコメントです。指標1の実績値が目標値と乖離している状況であるため、若者等サイレント層への取組や、市民が参加しやすい環境づくりに努めていただきたい。日々の生活や活動が「まちづくり」や「市民活動」の一端になっていることもあり、そこに気づいてもらうことが指標の値の改善につながると考える。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、引き続いて施策28をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策28、積極的な情報発信についてのコメントです。LINEの運用を開始したことは評価できる。今後は、LINEの周知を図るとともに、運用方法等を分析、検証し、より分かりやすい情報発信に努めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしいですか。

最後になります。施策29をお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策29、計画的な行財政運営についてのコメントです。PDCAの取組が行われたこと自体は評価できる。目標設定や振り返りなどの回し方について、各課の理解を深めていただく必要があると考える。

以上です。

◎**渡邊会長** 萬羽委員、朗読ありがとうございました。いかがでしょうか。

施策1から施策29番を1件ごとに確認しましたが、意見というところも含めまして、何か御意見があればお願いしたいと思います。

◎浅野委員 自分のグループではないため、経緯をしっかりと理解できていないところがありますが、施策4のコメントの文言の中で、「何を残して何をしないのか」という表現について、単純に日本語として分かりにくいなと感じました。「何を残して何を残さないのか」とか、「何をして何をしないのか」であれば分かるのですが、「何を残して何をしないのか」というのは、残すというのはある場面では何もしないことによって残すことだったりもするので、ここはどういう趣旨でこういう文言になったのか、事情があれば教えてください。

◎渡邊会長 「何を残して何をしないのか」というところですね。表現としての問題ですが、何か御意見ございますか。

◎萬羽委員 この施策についての論点は主に「小金井らしい」の意味が分かりにくいということだったと思います。浅野委員の御発言を聞いて、趣旨が伝わるように変えてしまったほうがいいなと思いました。「何をして何をしないのか」のほうが適切かもしれません。

◎渡邊会長 「何をして何をしないのか」という表現に変更されますか。

◎萬羽委員 そうですね。もしかすると「小金井らしいまちづくりについて、何をして何をしないのか」と言うと、より分かりやすいかもしれないなと思いました。もしくは「小金井らしい都市計画について、何をして何をしないのかを明確にする必要がある」と言ったほうが分かりやすいかなとも思ったのですが、第1グループの皆さん、いかがでしょうか。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。「小金井らしいまちづくりについて、何をして何をしないのかを明確にする」に変更するという御意見がございましたが。

◎浅野委員 説明を伺いまして、大変はっきりと理解いたしました。

◎渡邊会長 では、「小金井らしい」の後ろに「まちづくり」を入れて、「何を残して」というところを、「何をして」へ変更するということで、よろしいですか。

◎浅野委員 もう一点、施策6のところ、これも経緯があることだと思うのですが、指標の中に、無電柱化に関するものが入っていたかと思います。

指標の当初が0.6%、目標値が1.8%で、実績が1.0%、1.1%、1.1%で、目標値が低過ぎるので進捗しているかどうか自体が極めて判別しにくいところがあり、指標として目標を掲げること自体にやや無理があるのではないかという議論を昨年もしたような気がするのですが、今年はこの辺りの議論は特になかったのでしょうか。

◎萬羽委員 私の記憶だと、多くの予算が必要な内容のため、目標も高く設定できない事情があり、そこで議論が止まってしまったのですが、おっしゃるとおり、意見に入れてもいいのではないかと思います。皆さんいかがでしょうか。

◎渡邊会長 意見にこの件を足すということで、よろしいですか。文面はいかがいたしましょうか。

◎萬羽委員 最後の施策29のような形で、「次期計画においては、指標3の目標値の見直し

を検討していただきたい」というのを入れたいと思います。

◎渡邊会長 分かりました。いかがでしょうか。

◎富田企画政策課長 浅野委員がおっしゃってくださったのは、施策6の目標の3番の無電柱化推進計画に基づく進捗率についての御指摘ですよ。

◎浅野委員 そうです。

◎富田企画政策課長 御意見の欄に、「次期計画においては指標3の目標値の見直しを検討していただきたい」と入れるというところで方向性が出たかと思うのですが、コメントにある「指標3の値の進捗率に変動がなかったが、令和7年度の目標達成に向けた取組に期待する」という項目は残したままでよろしいですか。

◎萬羽委員 進捗率への変動はないが、目標達成を目指すということはコメントとしていいと思います。浅野委員がおっしゃったのは、その前段階の目標値の設定についてのことなので、矛盾はしていないと思います。

◎富田企画政策課長 矛盾はしていません。1つの指標について、2つの意見があることが、適切という御判断であればそれで結構かと思えます。

◎渡邊会長 指標3の目標値の見直しを検討していただきたいという文章を意見に追記することでよろしいですか。他に何かございますか。

◎須藤委員 施策10のコメントの2つ目についてです。

◎須藤委員 私が聞き漏らしただけかもしれませんが、創業支援の取組というのが、打合せの中では出ていない印象だったのですが、どういった経緯で記載されることになったのかを確認させてください。

◎萬羽委員 道草市のキッチンカーなどはあくまでも最初のきっかけにはなるけれど、商店街の活性化にはつながらないという議論の際に、創業支援の取組についてもメモを記録してくださったので、ここに追加されたのだと思います。

◎高松委員 創業支援という取組をやっているのは認識しています。また、その目的は商店街を活性化するというのではないという理解です。創業支援と商店街は、分けるべきではないでしょうか。創業支援は商店街に向けた取組ではないから、このような調査をすることが少し違うのではないかという気がしています。

◎萬羽委員 そうですね。議論の中で一番焦点になったのは、今後、商店街の活性化についても考えていただきたいということだったと思います。

◎須藤委員 商店街の活性化は残したいです。

◎萬羽委員 では、創業支援と調査については削除して、今後は、商店街の活性化につながる施策についても、より充実することを期待したいという文章ではいかがでしょうか。

◎須藤委員 良いと思います。

◎渡邊会長 よろしいですか。

◎須藤委員 はい、大丈夫です。

◎渡邊会長 では、他にございますか。

◎萬羽委員 施策14のところ、議論に参加していないので分からないのですが、1つ目は、各種取組が、どの程度目標に影響しているのか見えにくいと言っていて、2つ目は、課題と施策の方向性が合っていると言っていることが、若干矛盾しているような感じに思えたので、どういう意図でこの両方が入っているのか教えていただきたいです。

◎浅野委員 御指摘はごもっともだと思います。議論の中で様々な論点が出るので、まとめにくいところがあり、最終的にこういう記述になっていると思われま。

課題と施策の方向性が合っているという文章を削除すると、矛盾しているようには見えなくなるかなと思いますが、いかがでしょうか。

◎渡邊会長 では、削除します。他にございますか。

◎木場委員 施策15、学校教育の充実について、私も第2グループに属していますが、令和5年度のコメントを見ますと、2つ目に、コミュニティ・スクール制度の充実、更には学校家庭連携推進事業の新たな展開に期待したいと具体的に書いてありました。令和6年度の文書を見ますと、非常に抽象的であり、新たな課題として教員の働き方の改善というのが入っています。要は、我々のコメントが、令和5年度と6年度、連続性がなくなっているような気がするのですが、皆さん、いかがでしょうか。

◎富田企画政策課長 事務局から補足してもよろしいでしょうか。

◎渡邊会長 お願いします。

◎富田企画政策課長 施策15番の評価シートの担当課が書いている総括・自己評価の中では、全ての子どもに学校を楽しいと思ってもらえるように、学校運営協議会とも連携しつつ、多様な事業をこれからも展開していくということで、昨年コメントに対する姿勢はお見せしていることから、事務局としては、具体に入っていないでもいいのではないかと考えている次第です。

◎浅野委員 教育委員会から来ているので一言補足させていただくと、コミュニティ・スクール化は、昨年度全校に展開したので、リクエストに対して答えましたというのが教育委員会としての立場で、その上で学校運営協議会を更に充実させますというのが、今回出てきた自己評価ということだろうと理解しているところです。私としては、昨年のコメントへの対応を長期計画審議会として受け止めてはどうかと考えています。

◎木場委員 分かりました。

◎渡邊会長 では、これはこのままでよろしいですね。他にございますか。

◎浅野委員 非常に細かいことで恐縮ですが、施策22のDXの活用化についてです。

次年度の施策の方向性のところで研究していくと結ばれていて、こちらのコメントとしては、研究にとどまらずとしております。語義の確認ですが、行政用語として、研究とは何を意味しているのかということをお教えいただけますか。研究とか検討とかいろいろありますが、研究というのはどういうステージのことでしょうか。

◎富田企画政策課長 研究は検討の前です。研究は調査とか事例収集とかというところが主で、それをどう活用していくとかか導入について考えるのが検討です。

◎浅野委員 そうしますと、我々のコメントは、研究の段階ではなく、検討まで進めてほしいと言っていることになりますね。

◎富田企画政策課長 「実現可能な取組については積極的に展開」までいくと検討の後の運用に入ることになると思います。

◎浅野委員 研究の次は検討だけど、このコメントは検討以上のものを求めていると理解しておけばいいわけですね。

◎富田企画政策課長 そのように考えております。ただし、評価を踏まえてアクションを決定していくこととなりますが、コメントにおいて研究の先を求めているのに、その答えが研究していくになってしまっています。

◎浅野委員 それでは、研究にとどまらずのところを、研究を進め、可能な範囲でとしてはいかがでしょうか。研究を要請しますが、可能ならばもっと先までやってもらいたいと言っておいて、アクションとしては、研究していくという答えです。つじつまが合っていると思います。

◎富田企画政策課長 齟齬はないと思います。施策は福祉のまちづくりなので、DXが本来の目的ではありません。担当としては、いいものがあれば導入はいたしますが、具体的には書きにくいところもあるのでこのような書き方になっているのだと思います。

◎浅野委員 担当の方も、これについてあまり強く言われても困ってしまうというところがあるのかもしれないですね。

◎渡邊会長 それでは、文章を少し直すということで、他にございますか。

◎萬羽委員 施策26の意見のところ、「各指標は高いアンケート結果であるのではないか」という意味が分かりませんでした。これはどういうことをおっしゃりたいのでしょうか。

◎富田企画政策課長 各指標の値が高い結果となったという意味だと思います。

◎萬羽委員 分かりました。

◎渡邊会長 以上でよろしいですか。

それでは、令和6年度の施策評価についての議題はこれで終わりにしたいと思います。御協力ありがとうございました。

事務局、お願いいたします。

◎富田企画政策課長 皆様からの御意見、また、本日欠席の方から近日中に御意見があった場合はそちらを踏まえて、修正が必要なものについては、会長と事務局で調整をさせていただき、最終的な答申は会長一任でお願いしたいと思っております。

事務局からは以上です。

◎渡邊会長 事務局から説明ございました。修正については、私と事務局で調整させていただいて、それをもって最終という形にさせていただきたいということでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

◎**渡邊会長** それでは、次第2「その他」でございます。事務局から何かございましたら、お願いいたします。

◎**富田企画政策課長** 次回の日程につきましてご説明させていただきます。次回は12月下旬頃の開催を予定しております。日程調整につきましては、改めましてメールで事務局から依頼させていただきますので、御協力をお願いいたします。

次回の審議会は、各委員の皆様から今年度の施策評価の感想や御意見を伺い、次年度以降の参考にしたいと考えております。事務局からは、次期計画の策定に向けまして、開催日時点の進捗状況等を御説明させていただきます。長期計画審議会といたしましては、任期満了後、委員の改選をした後の審議会で検討していくこととなりますが、その前段といたしまして、小中学生アンケートや市民意向調査の結果など、委員の皆様にも共有していきたいと考えております。

また、委員の皆様の任期が令和7年1月26日までとなっていることから、委員の改選につきまして、お知らせさせていただきます。今期と同様に、公募委員は論文選考を3名、無作為抽出を2名予定しております。現在の公募委員の皆様にも、改めて論文を御提出いただき、また御参加をいただければと考えておりますので、御検討いただければと思います。公募の詳細につきましては、後日、市報等でお知らせをいたします。関係団体の委員の皆様につきましては、団体から委員の御推薦をいただきたく、団体のほうに改めて依頼をさせていただくこととなりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。渡邊会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** 次回の日程について事務局から提案がございました。御意見があればお願いいたします。

事務局の提案どおり、日程等については、事務局のほうから連絡していただくということにしたいと思います。

また、任期満了に伴う委員の改選については、引き続き御協力をいただきたいと思います。

他にございますか。これで終わりにしたいと思いますけれども、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

◎**渡邊会長** それでは、本日の議題は全て終了しましたので、これで令和6年度第3回小金井市長期計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。

(午後3時30分閉会)